

防犯カメラを賃貸物件に 導入するメリットは防犯だけではない

監修：セーフイー株式会社 代表取締役 佐渡島隆平

今や賃貸住宅の必需品、防犯カメラ

防犯カメラの普及が急速に進んでいます。ある警備会社の調査によると、「10年前に比べて、防犯カメラが増えたと思いますか」という問いに、「とても増えたと思う」「やや増えたと思う」と回答した人は合わせて75%に達しました。日常的に防犯カメラの増加を感じている人が大半です。そして、賃貸住宅に暮らす人の多くが、防犯カメラ等のセキュリティを重視しているという調査結果も出ています。



駐輪場や駐車場の様子も防犯カメラで常にチェックできる

セキュリティに加えて物件管理にもメリット

賃貸住宅に防犯カメラを設置するメリットは、セキュリティ面だけではありません。物件の管理にも大きな役割を果たします。

空室対策で大切なことの一つに、物件を常に美しく保っておくことが上げられます。しかし、いつも物件を巡回することはコスト的にも時間的にも難しいことです。

ゴミ置場に回収日以外にゴミ箱が置かれていないか、駐輪場は乱れていないか、集合郵便ポストは投函物であふれていないか……。これらの日常的なチェックが、防犯カメラで行なうことが可能です。



ゴミ置場の美化もカメラでチェック

物件が遠い
場合も遠隔で
チェック可能



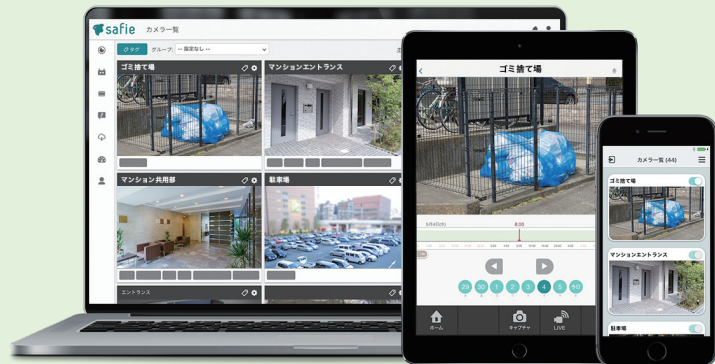
裏面では防犯カメラの導入ポイントを解説！

不動産のご相談は
当社まで

防犯カメラはクラウドでより便利に

今注目されているクラウド型の防犯カメラ

従来型の防犯カメラは、有線でセキュリティ会社とつながっているか、敷地内の録画装置に録画されているものがほとんどでしたが、今はクラウド型が多くなっています。これはカメラをインターネットにつなぐことで、パソコンやスマートフォンなどでもどこでもリアルタイムでチェックできるシステムです。録画もインターネット経由でサーバ上に保存しておくことができます。

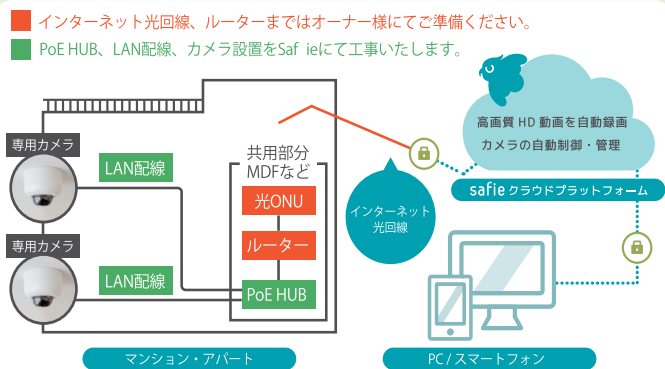


パソコンやスマホで、いつでもどこでもチェックできるのがメリット

クラウド型の防犯カメラには様々なメリットが

クラウド型のメリットは配線が簡単なので設置の費用も期間も短くて済むことです。録画機材を使用したシステムの場合は、設備にも費用がかかりますし、この機材は壊れることもありメンテナンスの必要もあります。クラウド型が主流になりつつあるのも、そのようなメリットが多いからだと言えます。またどこにいてもリアルタイムでチェックできますから、防犯対策だけでなく賃貸住宅の現状を常に見ることができ、管理にも役立ちます。

マンション・アパートで利用イメージ



※カメラの設置・視聴にはインターネット環境が必要です。

設置のコストも低く抑えられます

カメラ本体代や録画機材、設置料金、月々の使用料など防犯カメラにはコストがかかります。クラウド型の場合はこの点でも非常に低コストで導入できることがメリットです。リース型で月額使用料のみのコースもあり、1台目が月々4,500円、2台目以降が1台月々3,000円という料金設定になっており、設置料等の初期コストは必要ありません。まずはどのような運用がベストかをプロにご相談することをお勧めします。

※基本工事料金のみ含みます。特殊工事は別途料金がかかる場合がございます。

今回掲載したセーフィー株式会社の
ホームページはこちらのQRコードで



防犯のためにはより目立つようにカメラを設置することがポイント

「住まう」に、
寄りそう。

For perfect
estate management.



(一社)全国賃貸不動産管理業協会(通称:全宅管理)は、全宅連を母体として設立された賃貸管理業界最大の会員数を有する団体です。全宅管理では、賃貸管理業の適正化や標準化を図り、業界の健全な発達に寄与することを目的とした各種事業を行っています。

ホームページはこちらから検索

全宅管理 検索

<http://www.chinkan.jp/>